

理事長就任のご挨拶

平素より当基金の事業運営に関しまして格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、金属事業企業年金基金の理事長に就任することになりました。

当基金は、本年4月に設立から10年目を迎え、その節目の年に理事長という大役をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いです。

人生100年時代という言葉が提唱され久しいところですが、高齢社会が本格化する中、高齢期の働き方や生き方も多様化し、それを支える経済基盤の安定が不可欠となります。そういった意味で企業年金は公的年金の補完機能としての役割だけではなく、自助努力促進の器として今後ますます重要になるものと考えております。

一方、近年の資産運用を取り巻く環境を見ますと、一部の大国による覇権主義が横行し、それに伴う地政学リスクの顕在化は資源エネルギーをはじめ様々な物価の上昇を招いており、この先の世界的なインフレが懸念されるなど先行き不透明感が高まっております。

こうした社会経済情勢が著しく変化している中であって、企業年金制度を安定的に運営していくためには、的確なリスク管理の下、より効率的な資産運用に努めることが重要であります。資産運用において大切なことは収益の最大化ではなく、いかにマイナスを抑制するかであり、こうした基本姿勢を堅持しながらより長期的かつ安定的な制度運営に注力していく所存でありますので、皆さまのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、各事業所の益々の発展と皆さまのご健勝を祈念いたしまして、理事長就任の挨拶とさせていただきます。

金属事業企業年金基金
理事長 藤野 宗孝